

令和7年度 富士見市立針ヶ谷小学校 学校経営方針

令和7年4月1日

校長 河村 雅博

◇埼玉県教育振興基本計画 豊かな学びで未来を拓く埼玉教育

◇富士見市教育振興基本計画 学びあい 人がつながり 1人ひとりが輝く 富士見の教育

I 学校教育目標

かしこく、仲良く、たくましく

○自分で考える子（知）

○助け合う子（徳）

○じょうぶな子（体）

II 学校経営方針

一人一人が輝き、主役となる学校

～学びあう・育ちあう・高めあう学校～

III 目指す子どもの姿

○自分で考える子

→ 自ら学習に向かい、自分に合った方法を選択しながら、
学びをデザインできる子

○助け合う子

→ 多様な集団の中で、他者のよさを理解・尊重し、協働できる子

○じょうぶな子

→ 心も体もじょうぶで、やり抜く力のある子

IV 目指す学校の姿

○一人一人が輝き、主役となる学校

- ・子どもも教職員も学びあう、育ちあう、高めあう学校
- ・誰一人取り残されず、一人一人のよさや可能性を最大限引き出す学校

○学ぶわくわく感とできた感、安心感がある学校

- ・子どもが学ぶことを楽しみ、できたかもとを感じる学校
- ・認め合い・励まし合い・支え合える学級風土がある学校

○健康・安全に努める学校

- ・学校・家庭・地域の連携し、子どもの健康・安全のために協働できる学校
- ・心身ともに健康でやり抜く力が育つ学校
- ・子どもの目線を意識した施設設備の安全に努める学校

○子ども・保護者・地域・教職員が共につくる学校

- ・子ども、保護者、地域、教職員が、自分が学校をつくる大切な一員であるという当事者意識をもっている学校

○教職員が安心して本務に力を注げ、協働できる学校

- ・学校の本質を捉え、働き方改革を推進する学校
- ・教職員一人一人のよさを互いに認め合い、協働できる学校

V 目指す教師の姿

○一人一人が輝き、主役となる学校

- ・自身の強みを見つけ、磨き、それを発揮して力を伸ばしあえる教師
- ・10年後20年後に必要とされる「未来を拓く力」が育つには、教師はどうあるべきか、自身も学び続ける教師

○誰一人取り残さず子どものよさや可能性を見出す教師

- ・一人一人のよさを認め、励まし、言葉で伝える教師
- ・多様性を認め、寄り添い、一人一人を大切にする教師

○主体的な学びを支援する伴走者としての役割を果たす教師

- ・「教師が教える」から「子どもが学ぶ」への転換ができる教師

○学校をつくる組織の一人として協働できる教師

- ・学校をつくる大切な一員であることを自覚し、一人一人のよさを互いに認め合い、協働できる教師

○保護者や地域に信頼される教師

- ・保護者や地域の声に耳を傾け、誠意ある対応ができる教師
- ・教育公務員としての自覚をもち、コンプライアンスの徹底ができる教師

VI 今年度の重点

1 誰一人取り残されず一人一人の可能性を引き出す教育 針ヶ谷小 Ver. の推進

- ・自ら学習に向かい、自分に合った方法を選択しながら、学びをデザインできる子の育成
- ・すべての子どもが学べる授業デザインの構築
- ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実
- ・「GIGA スクール構想に係る富士見市教育ビジョン」のもと、教育 DX の推進及び情報モラルの再構築
- ・小中一貫における富士見市包括的セクシュアリティ教育の推進
- ・富士見市 STEM 教育の推進
- ・子どもの主体的な学びを支援する伴走者としての教師への転換
- ・多くの目で子どもを育てる包括的学年経営（全学年一部教科担任制・学年集会・学年懇談会の実施）

2 学校・家庭・地域が共にある学校づくりの推進

- ・学校・家庭・地域が当事者意識をもって学校づくりに参画することによる、CS へのスムーズな移行
- ・カリキュラムマネジメントの視点による、地域の教育力や資源の活用
- ・PTA、学校運営支援者協議会との連携・人財発掘

3 働き方改革の推進～子どもと笑顔で向き合うために～

- ・働き方改革へのマインドセット、学校の本質を捉えた業務・行事の精選
- ・プロジェクト型の組織体制の充実
- ・多くの目で子どもを育てる包括的学年経営（全学年一部教科担任制・学年集会・学年懇談会の実施）